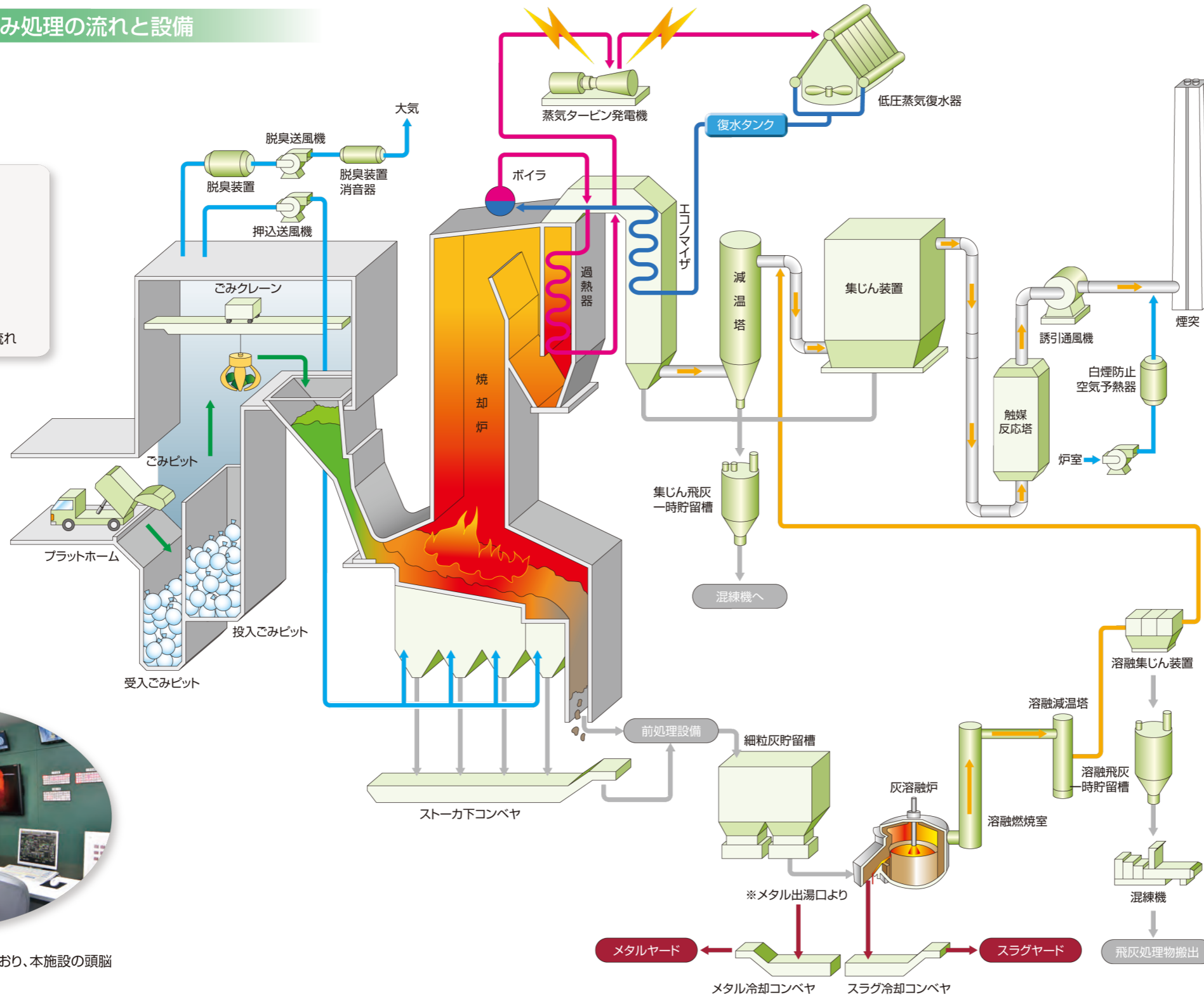


## ごみ処理の流れと設備

- ごみの流れ
- 灰の流れ
- ガスの流れ
- 復水の流れ
- 蒸気の流れ
- 空気の流れ
- スラグ・メタルの流れ



●中央制御室  
施設内の機器監視・操作はここでっており、本施設の頭脳と言えるところです。



●減温塔  
排ガスに水を噴射し、温度を下げ、集じん装置が能力を十分発揮できる温度にしています。



●集じん装置(バグフィルター)  
排ガス中のばいじんをフィルターによって除去し、ダイオキシン類、重金属類も除去します。



●触媒反応塔  
排ガス中にアンモニアガスを吹き込み、触媒を介して窒素酸化物を還元分解除去しています。



●プラットフォーム  
計量を終えた収集車はこのプラットフォームに移動し、ごみをごみピットへ投入します。



●ごみピット・ごみクレーン  
ごみピットに投入されたごみは、ごみクレーンにより攪拌されたあと焼却炉へ運ばれます。



●焼却炉  
炉内へ入ったごみは、ダイオキシン発生を抑制するため850℃以上の高温で焼却されます。



●蒸気タービン発電機  
ボイラで発生した蒸気によって駆動され、発電しています。この電力は所内電気をまかない、余剰電力は売電しています。



●灰溶融炉  
焼却灰を、約1200℃の高温で溶融し、減容・無害化して、資源化を図ります。



●スラグ  
溶融された灰はスラグと呼ばれるものになり、道路等に有効利用されています。



●メタル  
灰中の金属部はスラグと別に取り出し、銅の原料等に有効利用されています。